

## 性フェロモン剤を利用したコナガ防除開始時期の予測

(園試 環境部)

### 1. 背景とねらい

コナガは合成ピレスロイド剤が急激に効力低下したように薬剤抵抗性が発達しやすく、難防除害虫のひとつである。このため、過剰散布している圃場が多く、また防除適期を逃がし多発させている圃場も多い。本種は本県では越冬できないので、成虫の飛来により県内発生が始まるが、最近の暖冬経過の影響で県外の越冬地帯が北上していると考えられ、春期の誘殺数が年々増加し発生時期が早まっている。

そこで、薬剤を効率的に使用するため、初夏どりキャベツにおいて性フェロモントラップへの誘殺数から防除開始時期を検討した結果、現地で予測できる簡便な方法を確立したので指導上の参考に供する。

### 2. 技術内容

1)初夏どりキャベツでは、性フェロモントラップに誘殺された5日間の成虫数とその後5日間の平均気温を利用して、10日後まで防除開始の有無を予測できる(図1)

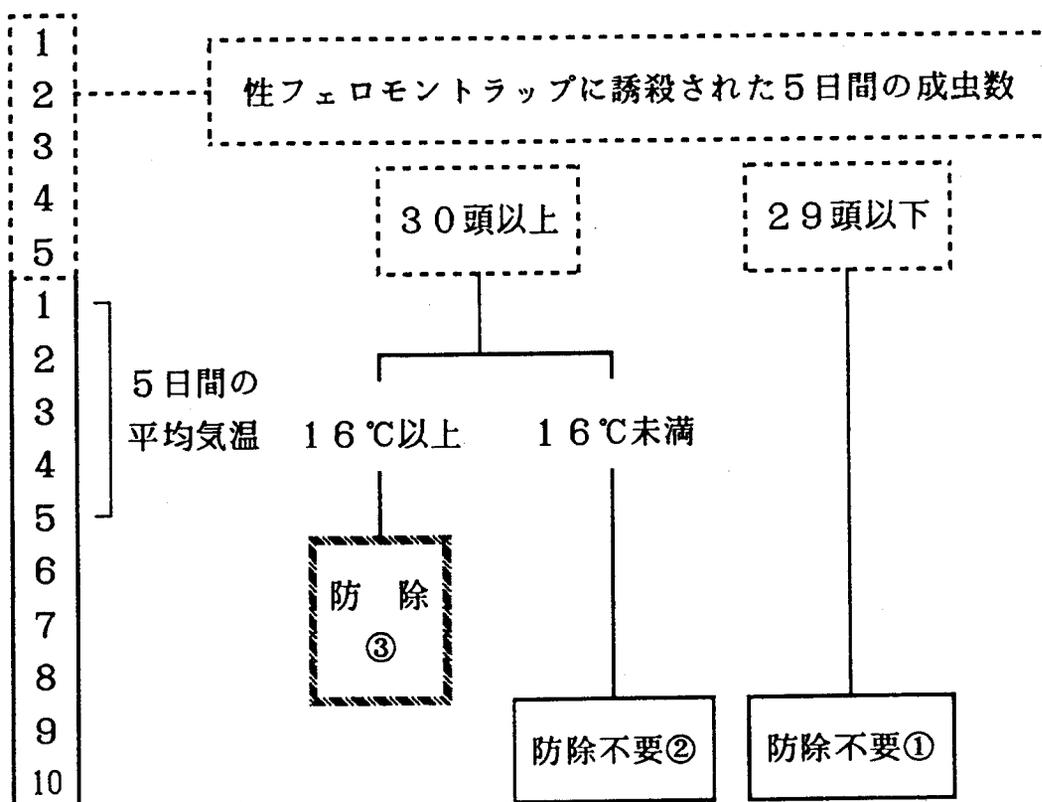


図1 性フェロモン剤を利用したコナガ防除開始時期予測法の手順

- ①誘殺された5日間の成虫数が29頭以下の場合、10日後まで防除は不要である。
- ②誘殺された5日間の成虫数が30頭以上の場合、その後5日間の平均気温が16℃未満であれば10日後まで防除は不要である。
- ③16℃以上であれば6～8日後に防除を開始する。

### 3. 指導上の留意事項

- 1)誘殺数は毎日調査し、常に新しい誘殺データで予測する。
- 2)定植2週間後までは調査していない。また、降雨量など他の気象要因については未検討である。したがって、幼虫密度は定期的に調査する。
- 3)平均気温からみた平年の防除開始時期は、県南部は5月下旬、県中部は6月上旬、県北部は6月中旬である。
- 4)防除開始後は使用された薬剤の残効期間と他害虫の発生状況を考慮して、次回の防除時期や使用薬剤を決定する。
- 5)性フェロモントラップ（性フェロモン剤を誘引剤として使う捕虫器）は、特定の対象害虫を選択的に捕らえることができるので誰でも容易に調査できる、手軽にどこにでも設置できる、などの利点がある。
- 6)性フェロモントラップは、作期や地形などが同一の地域の場合は1ha当り中心部に1カ所設置する。同一でない場合は適宜2～3カ所設置する。
- 7)性フェロモン剤を購入したい場合は、県植物防疫協会に申し込むこと。価格と留意点は以下のとおりである。

---

• 性フェロモン製剤	12個	7700円	1か月毎に交換する。
• トラップ（屋根）	6台	3200	トラップは高さ30cmに設置する。
• 粘着板	12枚	3200	誘殺数が多くて汚れたり、降雨が多い時は誘殺効率が劣るので交換する。

---

### 4. 試験成績概要 省略